

# 広報 させぼ

2012  
VOL.739

6



特集 佐世保の救急医療  
命に関わるお願いです

本市における救急車の出動件数は1年間で11,245件。緊急性が低いと思われる救急要請が増えています。

## 今月号の主な目次

8p 三浦地区みなとまちづくり計画 10p させぼ日和 11p イベント情報 12p 施設だより  
14p 市政通信 (市職員採用試験など) 18p 広報クイズ「みかんカステラ」プレゼント!  
19p レシピ「冬瓜のみそ煮」 20p 暮らしの情報 24p 健康と福祉 28p 佐世保市歯・口腔の  
健康づくり推進条例、事業所ごみの正しい分別 29p 佐世保の水 30p いのちを見つめる  
講演会、徳育通信 31p 歴史散歩、和牛の祭典 in ながさきなど

## 市長日記

1 四ヶ町商店街からスタートする参加者 2 開会式で「皆さんに支えられて大会を開催することができた」とあいさつする重信実行委員長 3 105ウォークラリーで長年、実行委員長を務めた堀田さん(中央)を紹介する朝長市長(右)



## 「第1回佐世保-島原ウルトラウォークラリー」の開催!

5月3日(木)正午、本市から島原市までの約105キロを24時間以内で歩く「第1回佐世保-島原ウルトラウォークラリー」が開催され、約640人の参加者が四ヶ町商店街から一斉にスタートしました。

この大会の前身となる「佐世保-島原105ウォークラリー」は、佐世保市民はもとより全国の参加者から長年愛され、親しまれてきましたが、昨年、38回目の開催を最後に、その歴史にピリオドを打ちました。

実行委員など関係者は大会を継続できなくなった事情を十分に理解し、納得されていたとのことでしたが、時が経つにつれ、ウォーキング愛好家などから「何とか再開できないものか」という声が大きくなっていきました。

そのような声に応え、大会を復活させようと立ち上がったのが、重信哲さんを中心とする佐世保商工会議所青年部の会員やOB会員、ウォーキング愛好者の皆さんなど約15人のメンバー。105ウォークラリーで長年、実行委員長を務めた堀田龍雄さんからも支援を受けられるようになり、彼らは「佐世保-島原ウルトラウォークラリー実行委員会(重信哲委員長)」を組織して準備を進め、5月3日、ついに大会の復活を実現させました。

復活を決意されてから、さまざまな困難を乗り越え、見事に目標を遂げられた重信委員長をはじめ、実行委員会の皆さんの情熱と行動力に心から敬意を表し、称えたいと思います。また相談役として、新たな実行委員会をサポートされた堀田さんなど、旧実行委員の方々にも心から感謝の意を表したいと思います。

本大会は私も過去3回の完歩経験があるので分かるのですが、「完歩した者のみが味わえる喜び、満足感、達成感、そして人生への自信」、これは何ものにも代えがたい人生の大きな宝、財産になります。今回完歩された425人の方々も大きな力を得られたことでしょう。

一方、体調不良や痛み、苦しみなどでリタイアを余儀なくされた皆さんの無念さや悔しさも計り知れないものがあるかと思えます。来年の再チャレンジを期待しています。

再出発を遂げた「佐世保-島原ウルトラウォークラリー」に全国から参加していただいた皆さんをはじめ、実行委員やボランティアの皆さん、本当にありがとうございました。そして、お疲れさまでした。

佐世保市長 朝長 則男

- 人の動き ●総人口 259,201人(1,413人) 男性 121,638人(959人)、女性 137,563人(454人)
- 5月1日 現在 ●世帯数 105,868世帯(965世帯) ※4月中の動き 転入 2,411人、転出 927人、出生 165人、死亡 236人
- させぼ ●テレビ 毎週土曜 NBC・NIB→9時25分、KTN・NCC→11時40分
- 市政だより ●ラジオ NBC 日曜 9時25分、FM長崎 火曜 9時5分、FMさせぼ 火曜10時30分・日曜 9時30分
- 新聞 長崎新聞 毎月第2・4火曜 ●ホームページ <http://www.city.sasebo.nagasaki.jp/>



市役所の  
携帯サイト  
はこちら!